

# 経済安全保障重要技術育成プログラムの中間評価結果

光通信等の衛星コンステレーション基盤技術の開発・実証

① 事業テーマ名
光通信等の衛星コンステレーション基盤技術の開発・実証に関する研究開発
② 事業者名
株式会社 Space Compass（代表機関） 国立研究開発法人情報通信研究機構、株式会社アクセルスペース、日本電気株式会社
③ K プロ運用・評価指針の視点
<ul style="list-style-type: none"><li>研究開発ビジョンの達成及び研究開発構想の実現に向けた研究開発課題の達成目標や内容の妥当性</li><li>研究開発課題の達成目標に向けた進捗状況（国内外とも比較）及び今後の見通し（含む、多様な分野における活用の実現可能性）</li><li>研究開発課題における実施体制の構築状況</li><li>研究資金の効果的・効率的な活用</li><li>国民との科学・技術対話に関する取組</li><li>意見交換会において合意された内容の進捗状況</li></ul>
④ 研究開発構想に定める達成目標
フルサクセス（中間評価①）（2024 年度） 同一軌道面内の 2 機の衛星に搭載された光通信ターミナル間で光リンクの実証に着手する。通信速度は 2Gbps 以上とする。
⑤ 総合評価
C（評価基準を一部達成しておらず、改善すべき点がある）
⑥ 総合コメント
<p>リスクマネジメントとコンソーシアム内の連携体制に不十分な点があり、スケジュール遅延・計画変更を余儀なくされたと判断する。</p> <p>今後は以下の点に留意して研究開発を進めていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>技術開発と事業化の双方の観点で新計画におけるリスク分析・評価を実施し、これにチーム全体で対応することでさらなるスケジュール遅延を防ぐとともに確実に社会実装につなげること。</li><li>ベンチマーキング結果、ビジネス構想等を踏まえて強みとするキー技術と開発仕様を明確化して研究開発を進めること。</li><li>コンソーシアム内の連携体制を強化した上で、各開発プロセスにおいて有効なリスクマネジメントを行うこと。</li></ul>